

① 中小企業者・小規模企業者の事業継続支援対策について

昨今の世界情勢を起因とする原材料費や光熱費、燃料の高騰で、企業経営は先行きが見通せず、特に中小企業・小規模企業にとっては事業の継続すら危ぶまれる厳しい経営状況が続いている。それに加えて、本町では人口の社会減が顕著である現状を踏まえると、このままでは、経済・雇用状況の両面から産業基盤が強い地域との格差拡大に拍車がかかるばかりでなく、地域経済の衰退を招くのではないかと危惧しているところである。

本町における企業への優遇策としては、新規に立地を考えている企業には条例等で助成金や奨励金制度が設けられ、施策が推進されているが、すでに町内で事業を展開している企業には、国による新たな取り組みへの資金援助は見受けられるものの、すでに経営体力が削られている状況の打開策となるような根本的な資金支援策はなく、ほとんどの事業者が疲弊している現状から脱し切るための術を見出せていない。経営者も効率的な事業経営に努め、経営改善を図っているところであるが、近年の状況は企業努力で対応できる範疇を超えており、これからの事業継続について大きな危機感を抱かざるを得ないところである。

そこで中小企業者・小規模企業者の事業継続策としての町の考え方を尋ねる。

- (1) 町内在住者の雇用にかかる継続的な雇用助成金制度の設置について。
- (2) 事業継続奨励金制度の設置について。
- (3) 水道、下水道の大口利用者に対する料金優遇制度の設置について。

② 複合施設建設について

今回の複合施設は図書館、健康センター、避難施設の3施設を含めた複合施設と認識しているが、図書館建設ばかりの検討が目立ち、他施設の構想が見えない。

複合施設の基本的な考え方を尋ねる。

- (1) 今回の複合施設の建設費用は如何程になるのか。
- (2) 財政計画は万全か。
- (3) プロポーザル落札内容について。
- (4) 落札者の会社概要について。
- (5) 建設予定地に対する環境、アクセス、駐車場、その他について。